

令和7年度

学校評価・アンケート結果

(児童・保護者・教員)

令和8年1月30日

板橋区立板橋第七小学校



令和7年度11月～12月に実施した学校評価について結果と考察をまとめたのでご報告いたします。保護者の皆様には回答のご協力をいただき誠にありがとうございました。なお今回はGoogle formsを活用しての調査としたため、保護者の分母は家庭数としています。

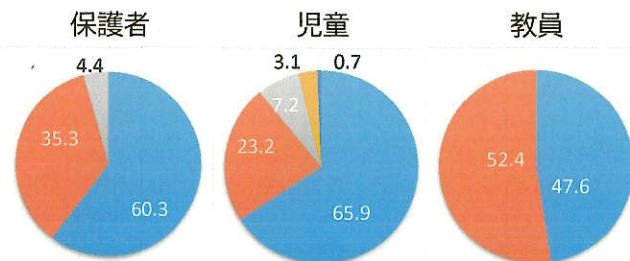
	保護者
人数	272
提出数	136
提出率	50%

※保護者は家庭数で計算しています。

各項目の詳細 A あてはまる B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない E わからない

1 子どもは毎日楽しく学校に通っている。

考察



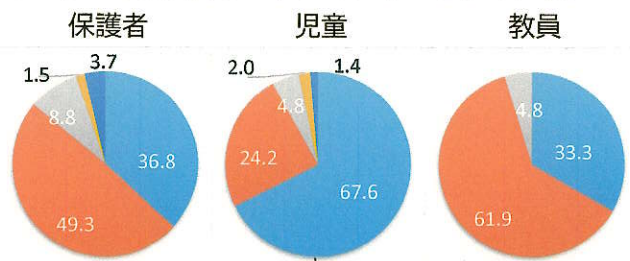
項目	保護者	児童	教師	保護者・児童・教員のいずれからも肯定的な回答が多く、子どもたちが安心して学校生活を送っている様子がうかがえます。特に児童自身は「楽しく通っている」と感じている割合が高く、学校が居場所となっていることが分かります。一方で、少数ながら不安や困り感を抱えている子どももいることから、今後も一人ひとりの様子を目向け、安心して通える学校づくりを大切にしていきます。
A	60.3	65.9	47.6	
B	35.3	23.2	52.4	
C	4.4	7.2	0.0	
D	0.0	3.1	0.0	
E	0.0	0.7	0.0	
単位は%				

2 子どもは学校での学習を楽しみにしている。



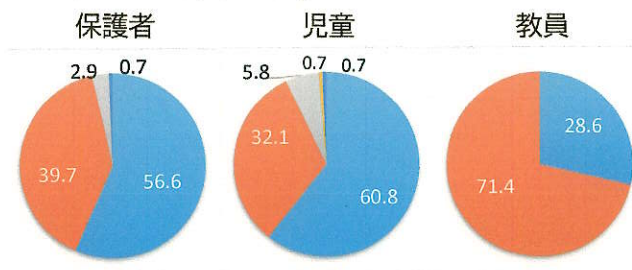
項目	保護者	児童	教師	多くの児童が学習を前向きに捉えており、「分かる」「できる」喜びを感じながら学んでいる様子が見られます。保護者や教員からも概ね良好な評価が得られている一方、学習への不安や負担を感じる声も一部にあります。今後は、子ども一人ひとりに応じた指導や支援を工夫し、学ぶことの楽しさをさらに実感できる授業づくりを進めていきます。
A	37.5	50.5	28.6	
B	44.1	41.6	71.4	
C	12.5	5.1	0.0	
D	5.1	1.7	0.0	
E	0.7	1.0	0.0	
単位は%				

3 子どもは気持ちのよいあいさつをしている。



項目	保護者	児童	教師	保護者・児童・教員のいずれからも、多くの肯定的な回答が寄せられました。特に児童自身は、日常のあいさつを前向きに捉えており、学校生活の中で自然なあいさつが定着してきている様子がうかがえます。反面、十分ではないと感じる声も一部見られることから、今後も学校全体で声かけや手本を大切に、より気持ちのよいあいさつが広がるよう取り組んでいきます。
A	36.8	67.6	33.3	
B	49.3	24.2	61.9	
C	8.8	4.8	4.8	
D	1.5	2.0	0.0	
E	3.7	1.4	0.0	
単位は%				

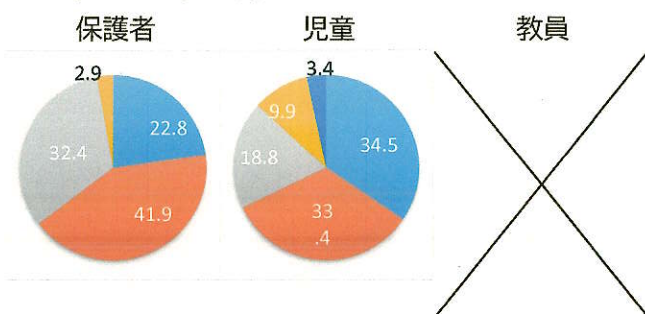
4 子どもは集団生活のルールやきまりについて理解している。



項目	保護者	児童	教師
A	56.6	60.8	28.6
B	39.7	32.1	71.4
C	2.9	5.8	0.0
D	0.0	0.7	0.0
E	0.7	0.7	0.0
単位は%			

保護者・児童ともに高い肯定的評価が見られ、子どもたちが学校生活のルールやきまりを理解し、意識して行動していることが分かります。教員からも概ね良好な評価が得られており、日々の指導の積み重ねが成果として表れています。今後も、学年や場面に応じて分かりやすく伝え、安心して集団生活を送れるよう支えていきます。

5 子どもは家の手伝いをしている。



項目	保護者	児童	教師
A	22.8	34.5	
B	41.9	33.4	
C	32.4	18.8	
D	2.9	9.9	
E	0.0	3.4	
単位は%			

肯定的な回答は一定数ありますが、家庭によって状況に差があることがうかがえます。子ども自身は手伝っていると感じている割合が比較的高く、役割を果たそうとする意識が育ってきています。今後も、家庭と連携しながら、子どもが自分の役割を意識し、生活力を高めていけるよう働きかけていきます。

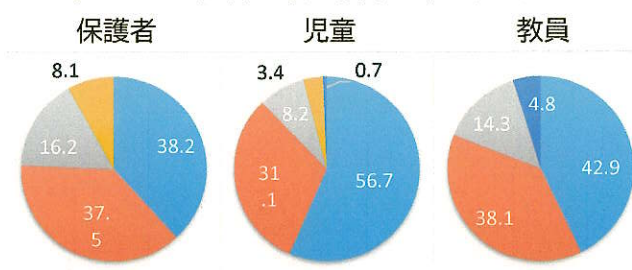
6 子どもは地域行事に参加している。



項目	保護者	児童	教師
A	17.6	44.7	
B	44.1	24.2	
C	28.7	18.1	
D	9.6	10.6	
E	0.0	2.4	
単位は%			

地域行事への参加については、積極的に参加しているご家庭と、参加が難しいご家庭があることが分かります。児童は参加している実感をもつ割合が比較的高く、地域との関わりを前向きに捉えている様子が見られます。今後も、地域と学校が連携し、子どもが無理なく地域と関われる機会を大切にしていきます。

7 子どもは、読書や家庭学習に毎日取り組んでいる。



項目	保護者	児童	教師
A	38.2	56.7	42.9
B	37.5	31.1	38.1
C	16.2	8.2	14.3
D	8.1	3.4	0.0
E	0.0	0.7	4.8
単位は%			

児童の肯定的な回答が高く、日常的に学習に取り組もうとする姿勢が育ってきていることが分かります。一部に、保護者・教員からは継続の難しさを感じる声もありました。今後は、子どもが無理なく続けられる工夫や声かけを行い、家庭と連携しながら学習習慣の定着を図っていきます。

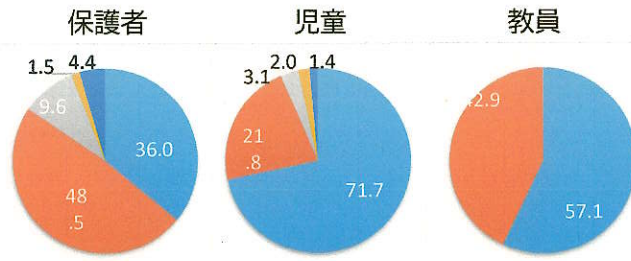
8 学校は、基本的生活習慣が身に付くための取組を行っている。



項目	保護者	児童	教師
A	45.6	38.9	66.7
B	45.6	38.2	33.3
C	5.1	15.4	0.0
D	0.0	6.8	0.0
E	3.7	0.7	0.0
単位は%			

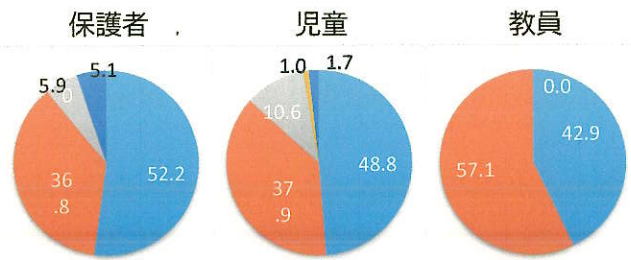
保護者・教員から高い評価が得られ、学校の取組が一定の成果を上げていることが分かります。児童からは改善の余地を感じる声もあり、生活習慣の定着には継続した支援が必要であることがうかがえます。今後も、学校生活全体を通して、基本的生活習慣が自然に身に付くよう取り組んでいきます。

9 学校は学力が向上する取組を行っている。



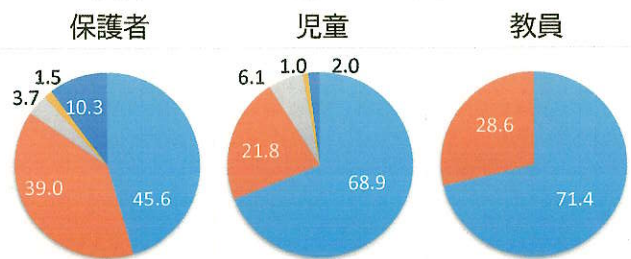
項目	保護者	児童	教師	児童・保護者・教員のいずれからも肯定的な評価が多く、学校の学力向上への取組が伝わっていることが分かります。特に児童は、学習の成果を実感している様子が見られました。今後、分かる喜びを大切にしながら、授業改善や学習支援を継続し、確かな学力の育成に努めていきます。
A	36.0	71.7	57.1	
B	48.5	21.8	42.9	
C	9.6	3.1	0.0	
D	1.5	2.0	0.0	
E	4.4	1.4	0.0	
単位は%				

10 学校は子どもたちが一人一台端末を有効に使えるよう工夫している。



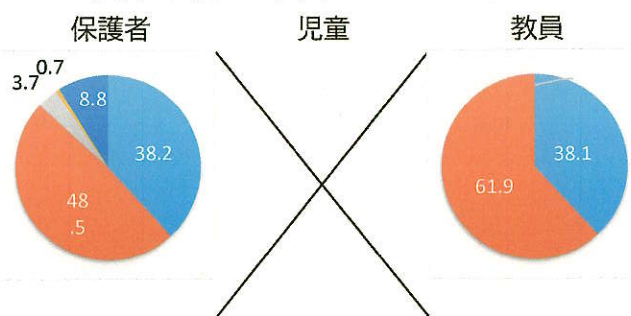
項目	保護者	児童	教師	多くの肯定的な回答から、ICTを活用した学習が学校生活に定着してきていることがうかがえます。児童も端末を学習に役立てている実感をもっています。一方で、使い方に不安を感じる声もあるため、今後も安全で効果的な活用について指導を重ねていきます。
A	52.2	48.8	42.9	
B	36.8	37.9	57.1	
C	5.9	10.6	0.0	
D	0.0	1.0	0.0	
E	5.1	1.7	0.0	
単位は%				

11 学校はいじめ・差別のない学校・学級作りをしている。



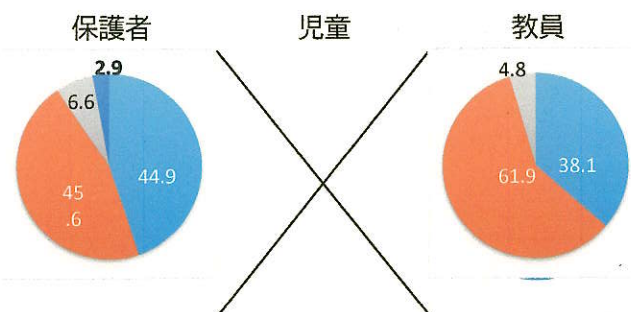
項目	保護者	児童	教師	児童・教員から高い評価が寄せられ、安心して過ごせる学校づくりが進められていることが分かります。保護者の一部には分かりにくさを感じる声もあることから、取組や考え方をより丁寧に発信していきます。今後も、子ども一人ひとりを大切にする指導を継続していきます。
A	45.6	68.9	71.4	
B	39.0	21.8	28.6	
C	3.7	6.1	0.0	
D	1.5	1.0	0.0	
E	10.3	2.0	0.0	
単位は%				

12 学校は、防犯や防災に対する安全管理がなされている。



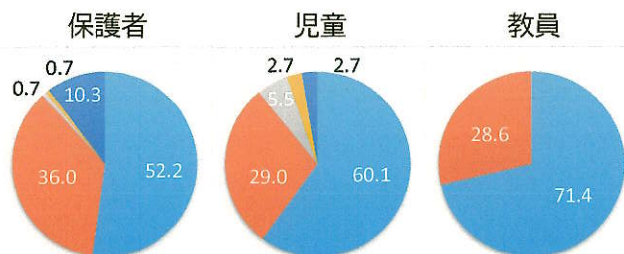
項目	保護者	児童	教師	保護者・教員ともに肯定的な評価が多く、学校の安全管理への取組が一定の信頼を得ていることが分かります。保護者の中には分かりにくさを感じる声も見られました。今後は、訓練や情報発信を通して、安全への取組をより分かりやすく伝えていきます。
A	38.2	38.1	38.1	
B	48.5	61.9	61.9	
C	3.7	0.0	0.0	
D	0.7	0.0	0.0	
E	8.8	0.0	0.0	
単位は%				

13 学校は、学校だよりやホームページなどで分かりやすく情報提供をしている。



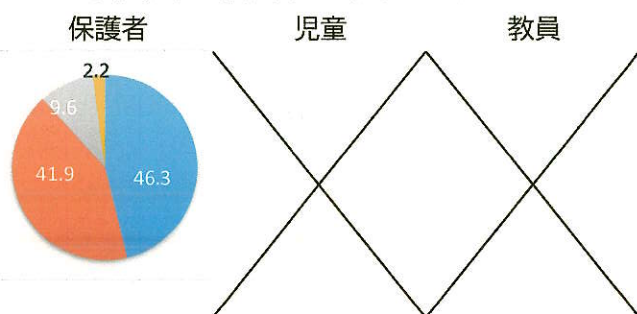
項目	保護者	児童	教師	概ね肯定的な評価が得られ、学校からの情報発信が保護者に届いていることが分かりますが、さらなる改善を求める声も一部見られました。今後も、より分かりやすく、必要な情報が伝わるよう工夫し、学校と家庭のつながりを大切にしていきます。
A	44.9	38.1	38.1	
B	45.6	61.9	61.9	
C	6.6	4.8	4.8	
D	0.0	0.0	0.0	
E	2.9	0.0	0.0	
単位は%				

14 学校は、問い合わせや相談に誠実に対応している。



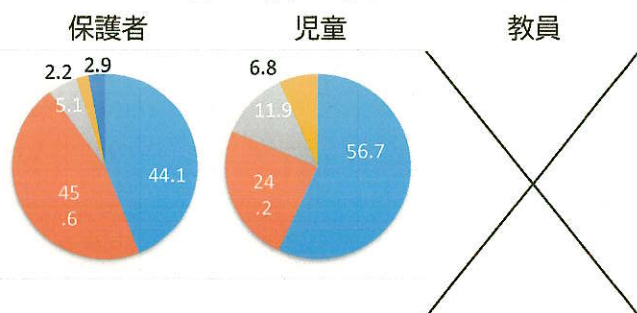
項目	保護者	児童	教師	保護者・児童・教員ともに高い肯定的評価が見られ、学校の対応が信頼されていることが分かります。一方で、分かりにくさを感じる声もあるため、今後も丁寧な説明と対応を心がけ、安心して相談できる学校づくりを進めていきます。
A	52.2	60.1	71.4	
B	36.0	29.0	28.6	
C	0.7	5.5	0.0	
D	0.7	2.7	0.0	
E	10.3	2.7	0.0	
単位は%				

15 学校行事や保護者会に積極的に参加している。



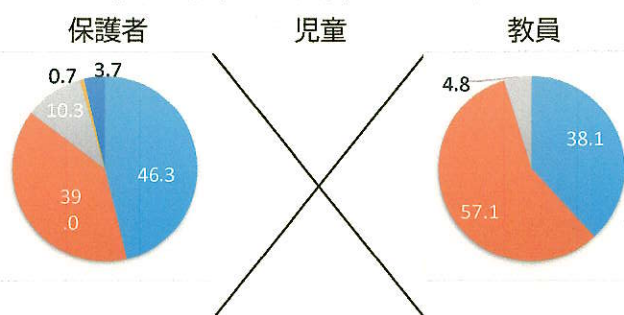
項目	保護者	児童	教師	多くの保護者が、学校行事や保護者会に前向きに参加していることが分かります。学校の取組への理解と協力に感謝するとともに、今後も参加しやすい工夫を行い、家庭と学校が連携しながら子どもを育てていけるよう努めていきます。
A	46.3			
B	41.9			
C	9.6			
D	2.2			
E	0.0			
単位は%				

16 子どもの係や当番、所属するクラブや委員会を知っている。



項目	保護者	児童	教師	保護者の多くが、子どもの学校での役割を把握していることが分かります。児童自身も役割を意識して活動しており、責任感が育ってきています。今後も、家庭に学校での様子が伝わるよう情報共有を工夫していきます。
A	44.1	56.7		
B	45.6	24.2		
C	5.1	11.9		
D	2.2	6.8		
E	2.9	0.0		
単位は%				

17 登校班の仕組みや運営方法を理解している。



項目	保護者	児童	教師	概ね理解されていることが分かりますが、十分に伝わっていない部分もあります。安全な登下校を支える大切な仕組みであることから、今後も分かりやすい説明や情報提供を行い、地域と連携して安全確保に努めていきます。
A	46.3		38.1	
B	39.0		57.1	
C	10.3		4.8	
D	0.7		0.0	
E	3.7		0.0	
単位は%				

令和7年度学校評価のまとめ

本年度の学校評価アンケートでは、全体として多くの保護者から本校の教育活動に対する理解と高い評価が寄せられました。特に、教職員の児童への温かな関わりや、行事・体験活動を通じた成長の機会については、自由記述においても感謝や肯定的な意見が多数見られました。

一方で、前述の考察からも分かるように次の評価項目については、自由記述の内容からも課題が明確になっており、次年度に向けた改善の視点として重要に受け止めています。

1 学習指導・学力の定着

学習面については、「授業の進度が速く理解が追いつかない児童への配慮が十分に感じられない」「宿題の量や内容、指示が分かりにくい」「テスト以外の作品評価が分かりにくい」といった意見が見られました。

児童一人ひとりの理解状況をより丁寧に把握し、個に応じた声かけや支援、評価の在り方について校内で共通理解を図っていきます。

2 保護者との連携・相談体制

「担任以外にも相談できる窓口がほしい」「学校としての対応や説明が十分でないと感じる場面があった」といった声がありました。

担任に負担が集中しない体制づくりとともに、管理職を含めた相談体制や情報共有の在り方について見直しを進め、保護者が安心して相談できる学校づくりを目指します。

3 学校運営・情報発信

学校だよりやホームページの発信については評価がある一方で、「行事予定を早く知りたい」「学年による情報量の差がある」「資料が見られないことがある」といった課題が挙げられました。

情報発信の時期や方法を工夫し、より分かりやすく、均等な情報提供に努めていきます。

4 安全・生活面

登下校の安全、校門の施錠・来校者対応、清掃指導などについて、具体的な改善を求める意見がありました。

まず、今学期中に玄関に電子錠が付きます。さらに、児童の安全・安心を最優先に、校内体制や指導内容を改めて点検し、必要な改善を図っていきます。

5 高く評価された点

一方で、教職員の姿勢や学校の雰囲気、行事・体験活動（展覧会、音楽活動、校外学習等）については、「子どもが毎日楽しく登校している」「先生方が子どもをよく見てくれている」「成長を実感できる」といった肯定的な意見が多く寄せられました。これらは本校の大きな強みとして、今後も大切にしていきます。

6 まとめ

本校では、これまで積み重ねてきた教育活動の成果を生かしつつ、寄せられた課題を真摯に受け止め、改善に取り組んでいきます。

今後も、児童・保護者・地域と連携しながら、「安心して通える、成長を実感できる学校づくり」を進めてまいります。